

## 湖北

長浜市内にある町の発展の



八坂玉提長浜市選ばれた川沿いの米産の町下城浜長商店

長浜

市民が選ぶ城下町遺産  
朱印地境界石柱など10件

跡などを「長浜城下町遺産」として選定する事業が始まった。12月13日に第1回選定委員会が開かれ10件が選ばれた。主催は長浜城下町まちづくり勉強会（渡辺浩之会長）。

他者によって選ばれる世界遺産や日本遺産に対し、長浜城下町遺産は市民自らが選ぶところに特徴がある。11月から候補のパネル展示やまち歩きなどで市民の意見を聞いてきた。

秀吉遺産▽町屋遺産▽景観遺産▽産業・近代化遺産の4種がある。今回選ばれたのは、朱印地境界石柱▽玉八商店西家付近の米川沿い▽浄国寺の童宮門など。あえて普段はあまり注目されていない遺産を選んでいる。

12人の選考委員から「観光や地域づくりに使えるよう、知恵を出してほしい」「町歩きができるよう工夫を」といった講評があった。今後、毎年10件を選定する予定。

【長浜通信部・長谷川隆広】

全国の「山・鉾・屋台」勇壮に  
曳山博物館でポスター展

長浜



「山・鉾・屋台行事」のポスター展 13件

ユネスコ無形文化遺産に登録されている「山・鉾・屋台行事」のうち、13件を紹介するポスター展が長浜市元浜町の曳山博物館で11月から12月にかけて開かれた。

行事の開催地である長浜市

や岐阜県大垣市、青森県八戸市など13の自治体が連携し、観光推進ネットワークを作っている。新型コロナウイルス禍で行事の中止や規模縮小が相次いだ、加盟自治体がそれぞれの祭りのポスターを展示して互いにPRした。

長浜曳山まつり▽山形県の新庄まつり▽岐阜県の大垣まつり——など勇壮な構図や鮮やかな絵柄のポスターが並び、祭りの盛り上がりを感じた。

「この祭りを知っているか」「どのポスターが好きか」を尋ねるシールアンケートも実施。ご当地だけに長浜曳山まつりの人気が高かった。

【長浜通信部・長谷川隆広】

## 湖東

彦根

障害者ら支援NPO「ぽぽハウス」  
糸賀一雄記念未来賞に

彦根市のNPO法人・ぽぽハウス（若林重一理事長）が「第7回糸賀一雄記念未来賞」に選ばれた。障害者福祉・教育の先駆者として知られる糸賀一雄氏（1914～1968年）にちなむ賞。近江八幡市のホテルで11月13日、授賞式があった。

ぽぽハウスは1999年に発足。高齢者、児童、障害者を支援しながら新たな地域交流を創出してきたとして評価された。

若林理事長は「受賞のお礼」すのコメントを発表した。「糸賀一雄氏の『自覚者が責任者である』という言葉にも感銘しております。この言葉は『気が付いた者が、社会を変える責任者となり、社会をより良い方向に変えていく』というぽぽハウスの歴史そのもののなです。これからの未来に向け、私たちも含めた地域の小さな活動がつながり、共生社会の実現に向け協働できる街づくりを目指していきたい」



授賞式に出席した若林重一理事長（右端）ら

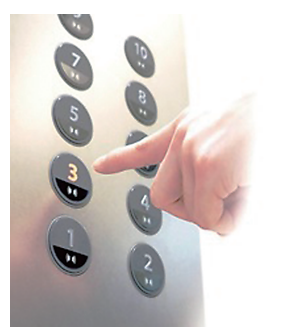
エレベーターの非接触ボタン  
グッドデザイン賞に輝く

彦根

新型コロナウイルス対策に関心が高まる中、大手エレベーターメーカーのフジテック（本社・彦根市）が開発した非接触ボタンが「2021年度グッドデザイン賞」に選ばれた。

商品名は「エアータップ」。ボタンから約5センチ以内に手をかざすと、赤外線ビーム式センサーが働いてエレベーターを呼んだり、行き先階を指定したりできる。再度手をかざせばキャンセルされる。複数のボタンに同時に近づけても反応せず、誤作動を防ぐ。

非接触ボタン単体形▽プッシュ式ボタンとの一体型▽非接触、プッシュ式ボタン並列



メーアイのフジテックのエアータップボタン

型——の商品ラインアップがある。

グッドデザイン賞審査員は「多くの人が触れたボタンに触りたくないといった心理的障壁を技術とデザインで解決に導いている」「既存のエレベーターにも設置が可能な無駄の少ない設計思想も高く評価された」などとコメントしている。

【彦根通信部・伊藤信司】